科目名	音楽基礎A1							年度	2026
英語科目名	Basic Theory of Music A1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田熊 知存		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作編曲家	

【科目の目的】

ミュージシャンとして必要不可欠な音楽理論の習得を目的とする。音符の読み書き、音程の把握、調性と音階、コードの仕組み、ダイアトニックコード、ドミナントモーションなどの基礎的な音楽理論を学び、より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏に活かせる知識を身につける。

【科目の概要】

音楽理論を習得するためには、一つ一つの授業の内容を正しく理解していく必要がある。授業中に配布される課題に積極的に取り組み、学生同士で教えあうことでさらに理解を深めることができる。不明な部分があれば必ず担当教員に質問し、理解できない状態で授業を進めることの無いようにすること。

【到達目標】

A.音部記号を理解できる
B.音符と休符を理解できる
C.音名を理解できる
D.音程を理解できる
E.調と音階を理解できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	音部記号を理解でき、要点を説明できる		音部記号を理解できる		音部記号を理解できない
到達目標 B	音符と休符を理解でき、要点を説明できる		音符と休符を理解できる		音符と休符を理解できない
到達目標 C	音名を理解でき、要点を説明できる		音名を理解できる		音名を理解できない
到達目標 D	音程を理解でき、要点を説明できる		音程を理解できる		音程を理解できない
到達目標 E	調と音階を理解でき、要点を説明できる		調と音階を理解できる		調と音階を理解できない

【教科書】

「決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解」

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	音楽基礎A1	年度	2026
英語表記	Basic Theory of Music A1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	五線	五線を理解する	1	五線	五線について理解できる		
			2	間	間について理解できる		
			3	五線譜表	五線譜表について理解できる		
2	小節	小節を理解する	1	縦線	縦線の役割を理解できる		
			2	複縦線	複縦線の役割を理解できる		
			3	終止線	終止線の役割を理解できる		
3	音部記号	音部記号を理解する	1	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			2	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
			3	ハ音記号	ハ音記号について理解できる		
4	音符と休符①	音符と休符を理解する	1	単純音符	単純音符について理解できる		
			2	付点音符	付点音符について理解できる		
			3	複付点音符	複付点音符について理解できる		
5	音符と休符②	音符と休符を理解する	1	連音符	連音符について理解できる		
			2	装飾音符	装飾音符について理解できる		
			3	音符の連結法	音符の連結法について理解できる		
6	音名	音名を理解する	1	日本語	日本語の表記について理解できる		
			2	ドイツ語	ドイツ語の表記について理解できる		
			3	英語・イタリア語	英語・イタリア語の表記について理解できる		
7	変化記号と異名同音	変化記号と異名同音を理解する	1	シャープ	シャープの役割を理解できる		
			2	フラット	フラットの役割を理解できる		
			3	ナチュラル	ナチュラルの役割を理解できる		
8	音程①	度数表記を理解する	1	度(Degree)	度(Degree)について理解できる		
			2	半音と全音	半音と全音の違いを理解できる		
			3	異名同音程	異名同音程について理解できる		
9	音程②	音程の種類を理解する	1	音程の表記構成	音程の表記構成について理解できる		
			2	転回音程	転回音程について理解できる		
			3	複音程	複音程について理解できる		
10	調と音階①	長音階と調号を理解する	1	長音階	長音階について理解できる		
			2	♯系の長音階と調号	♯系の長音階と調号について理解できる		
			3	♭系の長音階と調号	♭系の長音階と調号について理解できる		
			1	短音階	短音階について理解できる		

11	調と音階②	短音階と調号を理解する	2	♯系の短音階と調号	♯系の短音階と調号について理解できる		
			3	♭系の短音階と調号	♭系の短音階と調号について理解できる		
12	近親調	近親調を理解する	1	五度圏	五度圏の見方を理解できる		
			2	平行調・同主調	平行調・同主調について理解できる		
			3	属調・下属調	属調・下属調について理解できる		
13	転調・移調	転調・移調を理解する	1	転調	転調について理解できる		
			2	移調	移調について理解できる		
			3	固定ド・移動ド	固定ド・移動ドについて理解できる		
14	前期試験対策	前期試験に向けた対策	1	総合復習	前期に学んだ内容を復習できる		
			2	質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる		
			3	模擬テスト	模擬テストに取り組み試験対策できる		
15	前期の復習	前期に学んだことを振り返る	1	前期試験の添削	前期試験を見直し、間違えた箇所を自覚できる		
			2	質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる		
			3	後期の目標	後期の目標を立て、自発的に学習できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等